

# 未来をつむぐメッセージ

宮城県職員を目指すあなたへ  
先輩職員からのメッセージ

行政



仕事を通じて知った宮城の魅力を  
もっと輝かせたい



うじいえりほ  
**氏家 梨帆**

平成28年度採用  
企画部 企画総務課 企画調整第一班

主な経歴

平成28年度～ 仙台北県税事務所 納税第二班  
令和元年度～ 環境生活部 再生可能エネルギー室 省エネルギー推進班  
(現:再エネ・省エネ推進班)  
令和 4年度～ 現職

「宮城県制150周年記念事業」を担当しています。宮城の歴史や魅力を知る機会にもなり、楽しく業務に取り組んでいます。特に、150周年記念誌は、後世に残るものであるため、とてもやりがいのある仕事だと感じています。  
仕事を通じて「お互い様精神」も身につきました。思わぬ業務が増えても、「お互い様」と考え、組織全体で対応することが大事だと考えています。  
県の業務は多岐にわたるので、今後は、現在の業務で学んだことを活かしながら、様々な仕事を経験したいです。

[宮城県職員を目指すあなたへ]

県職員として働くことの具体的なイメージがまだ持っていないのも、経験を積んでいく中で、きっと自分のやりたいことを見つけることができると思います。私も入庁してから「こんな部署があったんだ」と驚くことがありました。宮城県を良くしたいという気持ちがあれば十分です。皆さんと一緒に働く日を楽しみにしています。



## キャリアパスインタビュー



いくた よしふ  
**生田 仁信**

平成12年度採用  
保健福祉部 医療人材対策室 総括室長補佐  
入庁後、産業経済部 産業経済総務課に配属  
その後、自動車産業振興室、震災復興政策課(現:総合政策課)、医学部設置推進室(現:医療人材対策室)などの業務を経験  
令和元年度～ 震災復興・企画部 地域復興支援課  
(現:企画部 地域振興課)課長補佐(班長)  
令和 3年度～ 農政部 農業政策室 室長補佐(班長)  
令和 4年度～ 現職



おおともれん  
**大友 廉**

平成25年度採用  
土木部 都市計画課 都市整備班

主な経歴

平成25年度～ 仙台土木事務所 河川砂防第四班  
平成28年度～ 東部土木事務所 登米地域事務所 道路建設第二班  
令和元年度～ 気仙沼土木事務所 河川砂防第一班  
令和 4年度～ 現職

「都市再生整備計画関連事業」などを担当しており、市町村のまちづくりの支援を行っています。まちづくりに計画段階から携わり、まちが新たな賑わいに溢れているのを感じるとき、満足感が得られます。  
困難を感じた時はシンプルに考え、同僚や上司に相談し、解決の糸口を探します。また、多忙な部署での経験を経て「今やることは今やる」という意識を持つようになりました。  
私が担当している事業はほとんどの市町村で実施可能です。多くの市町村で、まちづくりに関する見識を深める場を創っていければと思っています。

[宮城県職員を目指すあなたへ]

県職員の魅力は幅広い分野の仕事に携われることです。多種多様な業務内容は刺激になり、いつも新鮮な気持ちで仕事と向き合っています。  
一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

## 「仕組みづくり」に携わることができるのが 県職員の醍醐味

県の産業振興・地域振興に関わる仕事がしたいと思い、県職員の道を選びました。  
最初は、産業経済部に配属され、部内の予算の取りまとめ、議会対応などを行いました。この時、先輩方からご指導いただいたおかげで、県庁での働き方の土台ができたように思います。  
仕事を通じて、データを活用しながら施策を考えることや、様々な立場にある関係者間の合意形成を図ることの重要性を感じることが多く、現在も試行錯誤しながら取り組んでいます。  
また、仕事を進める上では、担当する仕事に隣接する業務について調べる、上位の目的から考えるなど、一步踏み込んで取り組むことを心がけています。  
これまで勤務してきた部署では、いずれも思い出に残る仕事がありますが、特に印象に残っているのは、県内自動車関連産業の振興や県震

災復興計画の策定、医学部新設に向けた取組みです。  
どの部署も、様々な課題の解決に向けて知恵を絞った対応をしており、宮城県を良くしていく「仕組みづくり」に携わることができるのが、県職員の醍醐味の1つだと思っています。

今後は、地域社会が将来にわたって維持・発展できるように地域経済循環の向上や産業・生業の創出につながる仕事に携わりたいと考えています。

[宮城県職員を目指すあなたへ]

県の仕事は、様々な分野があり、経験を重ねても新たな発見やチャレンジの機会がたくさんありますし、記憶に残る仕事に出会えるチャンスもあります。宮城の「カタチ」を創り、支える仕事と一緒に取り組みましょう。

※現在の経済商工観光部、農政部、水産林政部が統合された部